



●発行：中西とも子と箕面から変えようネット！

〒562-0001 箕面市箕面2-1-34(サンプラザ北向) ☎&📠:072-725-835

中西とも子の議会報告

一 6月議会報告①

【オンライン授業について】

箕面市では、5月28日から「オンライン授業」をはじめました。(中学3年生対象)

当初は、6月半ば頃までにはスタートする予定でしたが約2週間、前倒しになった格好です。

しかし「各家庭が電気店に相談して準備を」という市教育委員会からの案内があったり、前日の27日に貸出用のタブレットが自宅に届いたり、混乱が生まれました。

中西はタブレット機器の貸し出しや使い方、Wi-Fi環境の整備など、丁寧な対応が必要であること、親の在宅の有無やインターネットのスキルが影響し、格差を招くことなどから、十分な配慮が必要であることを指摘し、改善を求めました。

そして、今年度は希望者に無料で貸し出されますが、来年度からは非課税世帯やそれに準じる世帯以外は、各家庭で調達しなければならないことになっており、公教育で高額な出費は親の負担が増すため、見直しを求めました。児童・生徒に1人1台のタブレットを貸与している物を自宅で使えるようにすれば良いし、インターネット環境の設置についても、必要な家庭には補助すべきであると考えます。

また、この件に関連して一般質問では、不登校や体調など個々の子どもの状況により、必要な場合にはオンライン学習を利用できるよう、求めました。多様な選択肢があれば良いと考えています。

【箕面市立病院の経営】

今回の補正予算では、新型コロナウイルス感染症の影

響により、資金不足が見込まれ、一時借入金の限度額を3億円から18億円に変更するという提案がなされました。一時借入れなので、年度内に返済しないとはいけません。厳しい自転車操業です。

この間、大阪府の要請により、1病棟42床を新型コロナウイルス感染患者の入院受け入れ専用の病棟に転用し、不要不急の手術や検査を延期してきました。また、外来患者も受診を控えるなどで、減少。4月は、対前年比で、2,3割減少しました。

委員会質疑では、資金残高不足の状況や、コロナの影響、箕面市立病院の「赤字解消」「収支改善」追及に議論が集中。

「第3次市立病院改革プラン」では、2019年度末の単年度収支は▲6億8000万円の目標額でしたが、現時点の決算見込み額は、約▲12億円となっています。つまり目標額から5億円悪化。そのため現在、監査法人に経営分析を委託し、改善策の検討に着手しています。

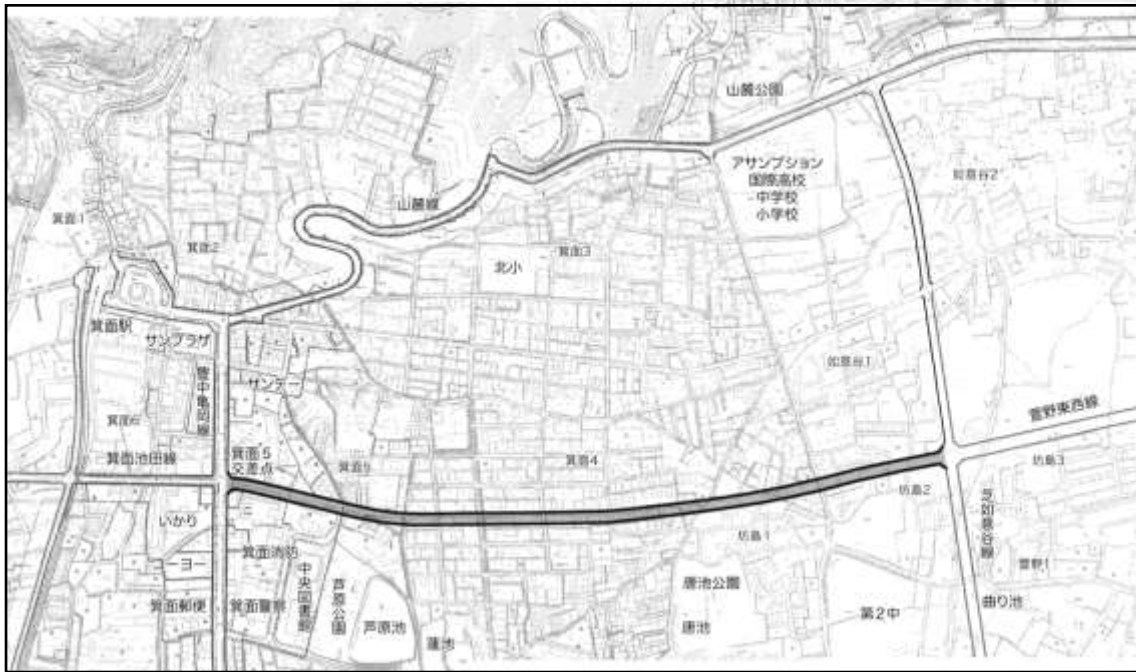
◆市の繰り入れ無し、は見直すべき！ 市民が求める市立病院を考えましょう。

なお、コロナ関連の国からの補助が、まだ未確定であるため、今後の見直しについては、現時点では試算できない、とのことでした。

また収益の取れる診療科を増やすこととか、ドクターの意識改革(営業活動の推進)などで、収支改善を目指す、という病院の答弁がありました。

議論は「収支改善」に終始しましたが、箕面市民にとって、これからの公立病院としてどのような医療体制を構築すべきなのか、という議論がほとんどなく、残念です。

是非、みなさんのご意見をお寄せください。



●都市計画道路案4か所のうち、色が濃い部分が箕面池田線と菅野東西線間の道路案。住宅街の中を貫いています。

◆都市計画道路案に異議を申し立てた市民の声が、市を動かす！

建設水道常任委員会や12日の都市計画審議会(都計審)、本会議で、大きな議論となりました。

都計審では4か所の道路案について、説明会をおこなってからパブリックコメント(市民意見)を募るべきだという意見や、箕面4・5丁目の住宅街を貫く道路については、約600件の反対意見があり、また1800筆の反対署名や要望書も市や議会に届いており、成熟した街並みを壊してまで幹線道路の建設は必要ないため撤回すべきだという意見と、市内の道路網計画のなかで位置付けられていることを、丁寧に説明して進めるべきだという意見に分かれました。

なお都計審では、市民の声をうけて4つの計画案のうち、池田線と菅野東西線間の道路は時間をかけて検討することとし、3つの計画案を先に進めることになりました。しかし、市内の道路網計画全体にかかわる幹線道路整備であるのに、1か所を除いて協議する手法は矛盾します。はっきりと白紙に戻す、と何故いえないのでしょうか。

人口減少時代に、何百億円もの道路建設が本当に必要なのか。そのお金を市内循環バスの充実に使う方が有意義ではないのか、と思います。

◆通学区域の再編は、子どもの安全と地域コミュニティへの配慮を！

6月19日の通学区域審議会には、約70名の市民が傍聴に。小学校区面積と地域面積の割合を一定にした指標で再編するという考え方が、何故子どもの安全や地域コミュニティを守ることよりも優先するのか納得できない、という声で溢れていました。8回もの市民ワークショップや、審議会委員の方々には、大変ご苦勞をおかけしましたが、結局、「住民への丁寧な周知」「外部環境の変化(教育制度、交通環境、地域生活など)や課題について必要に応じて検討する」「地域活動・防災・防犯・福祉の各部局との連携」ほかの付帯意見をつけて原案どおりの答申となりました。今後、きっちりと進捗をみとどけなくてはなりません

箕面市議会「市民ネットワーク」 中西とも子のタウンミーティング

6月28日(日)PM2:00~

場所:中央生涯学習センター3階講座室

議会の報告や箕面市のこれからの動き、とくに広報紙には載らない部分もしっかりご報告します。

